DYFLEX

建築・土木用 硬質形高粘度形注入エポキシ樹脂

EverBond® EP-150

JIS A 6024:2015適合品(建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂)

エバーボンドEP-150M：JAIA-005494 F☆☆☆☆／JAIA-503183 4VOC基準適合
エバーボンドEP-150W：JAIA-005495 F☆☆☆☆／JAIA-503184 4VOC基準適合

※防錆材入り（特許出願中）・湿潤面対応型エポキシ樹脂（JISA6024:湿潤接着性による。）

注入補修用・充填接着用硬質形 高粘度形エポキシ樹脂

エバーボンド® EP-150

JIS A 6024
建築補修用及び
建築補強用エポキシ樹脂
認証番号 CE0619001

エバーボンド®EP-150 は注入・充填接着用に開発したマヨネーズ状の常温硬化型エポキシ樹脂系接着剤でマヨネーズ状でありながら混合性・注入性に優れ、コンクリート構造物のひび割れやモルタルやタイルの浮き等の注入・充填接着用途に適しています。
防錆材入りの為、露筋欠損部のエポキシ樹脂モルタルの防錆材入りプライマー用途としても使用できます。また、特にタイル直貼りの浮き部に適した注入用エポキシ樹脂です。

タイル直貼りの浮き部注入

露筋欠損部のプライマー用途（SK モルタル）

アンカーボルト定着

ひび割れ注入

性状

季別	エバーボンド®EP-150M		エバーボンド®EP-150W	
項目	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	アミン混合物・防錆材	エポキシ樹脂	アミン混合物・防錆材
外観	乳白色クリーム状	淡褐色グリース状	乳白色クリーム状	淡褐色グリース状
混 合 比	主剤：硬化剤＝２：１（重量比）		主剤：硬化剤＝２：１（重量比）	
可使時間	約 110 分（15℃：300g）		約 180 分（ 5℃：300g）	
	約 60 分（20℃：300g）		約 130 分（10℃：300g）	
	約 40 分（25℃：300g）		約 70 分（15℃：300g）	
	約 30 分（30℃：300g）		約 40 分（20℃：300g）	
混合比重	1.10 ± 0.1g/㎤		1.10 ± 0.1g/㎤	

※可使時間については、測定値で規格値ではありません。

エバーボンド®EP-150 の特長

- 防錆機能を付与した高粘度形エポキシ樹脂です。
- マヨネーズ状で混合性・注入性がよく、ヘラ切れにも優れています。
- 優れた揺変成を有していますので、充填後タレやひび割れからの流出はありません
- 接着力が強く、ひび割れや浮きへ充填することにより、構造物を一体化します。
- 硬化時や経時による収縮が殆どなく、充填後のひび割れ、肌分かれなどを起こしません。

エバーボンド®EP-150 の用途

- タイル直貼り（タイル張り付けモルタルと躯体間の浮き部）浮き部の注入接着材
- モルタル・タイルの浮き部の注入接着
- コンクリート構造物のひび割れや隙間の注入・充填接着
- 防錆材入りエポキシ樹脂モルタル用プライマー
- アンカーボルトの定着材
- 鉄筋等の防錆材用途

Construction Chemical Company
株式会社 ダイフレックス

建築・土木用 硬質形高粘度形注入エポキシ樹脂

※防錆材入り（特許出願中）・湿潤面対応型エポキシ樹脂（JISA6024:湿潤接着性による。）

物性データ《建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂》JIS A 6024：2015 注入エポキシ樹脂（硬質）の品質に基づく試験

JIS A 6024:2015 品質項目			エバーボンド®EP-150M		エバーボンド®EP-150W	
試験項目		試験条件	試験結果	JIS 規格値	試験結果	JIS 規格値
スランプ A 法（mm）		低温条件 A 15 ± 2℃	—	—	0	5 以下
		高温条件 A 30 ± 2℃	0	5 以下	—	—
接着強さ A 法（MPa）		標準条件 B 23 ± 2℃	9.8	6.0 以上	10.8	6.0 以上
		低温条件 B 5 ± 1℃	—	—	8.9	3.0 以上
		湿潤条件	8.2	3.0 以上	8.8	3.0 以上
		乾湿繰返し条件	6.9	3.0 以上	7.1	3.0 以上
引張特性 A 法	引張強さ（MPa）	標準条件 B 23 ± 2℃	36.9	15.0 以上	49.8	15.0 以上
	破断時伸び（%）	標準条件 B 23 ± 2℃	2	10 以下	4	10 以下
圧縮強さ A 法（MPa）		標準条件 B 23 ± 2℃	68.2	50.0 以上	62.0	50.0 以上
硬化収縮率（%）		標準条件 B 23 ± 2℃	0	3 以下	0	3 以下
加熱減量 A 法	質量変化率（%）	高温条件 B 110 ± 3℃	1	5 以下	0	5 以下
	体積変化率（%）	高温条件 B 110 ± 3℃	0	5 以下	0	5 以下

防錆データ　東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社 構造物施工管理要領「鉄筋防錆材の性能照査項目」及び『建築改修工事監理指針』（案）

「鉄筋防錆材の性能照査項目」・監理指針（案）			エバーボンド®EP-150	
要求性能	試験項目		試験結果	基準値
防錆製	防錆性試験	処理部	96%	防錆率 50% 以上
		未処理部	47%	防錆率 -10% 以上
鉄筋との付着性	鉄筋に対する付着強さ		14.3N/㎟	7.8N/㎟以上
コンクリートとの付着性	耐アルカリ性		塗膜に異常を認めない	塗膜に異常を認められないこと

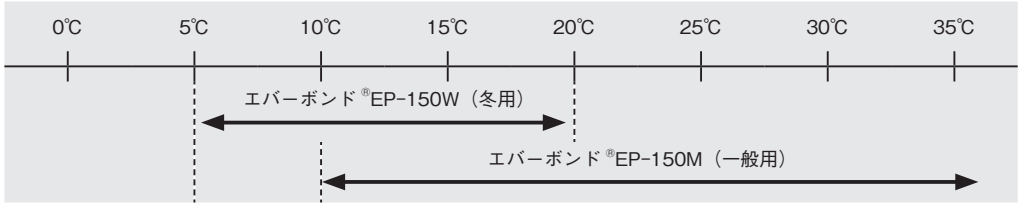
上記測定値は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『建築改修工事管理指針』鉄筋コンクリート用防錆材の品質規格（案）と東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、構造物施工管理要領「鉄筋防錆材の性能照査項目」の試験項目内容について公的試験期間で測定した結果です。

鉄筋コンクリート用防錆性　鋼棒 左 未処理部　右 処理部

梱包容量

3kgセット（主剤：2kg、硬化剤：1kg） × 4セット / ケース	JIS A 6024（区分記号） 高粘度形（I-H-R）一般用 高粘度形（I-H-W）冬用

材料使用温度との目安



※ 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

ダイフレックス製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらすものでもありません。ユーザーは、ダイフレックス製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のカタログ又はリーフレットの最新版に留意して下さい。カタログ又はリーフレットの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

株式会社 ダイフレックス
〒163-0825
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F 私書箱第6086号
TEL.03-5381-1555　FAX.03-5381-1566

東京支店／TEL.03-5381-0231　FAX.03-5381-0232
大阪支店／TEL.06-6292-0511　FAX.06-6292-0522
名古屋支店／TEL.052-735-3991　FAX.052-735-3992
横浜支店／TEL.045-290-9751　FAX.045-290-9755
札幌営業所／TEL.011-804-8050　FAX.011-804-8061
仙台営業所／TEL.022-207-5010　FAX.022-207-5011
新潟営業所／TEL.025-365-3010　FAX.025-365-3011
金沢営業所／TEL.076-290-7408　FAX.076-290-7410
さいたま営業所／TEL.048-646-4870　FAX.048-646-4871
千葉営業所／TEL.043-380-7981　FAX.043-380-7982
多摩営業所／TEL.042-402-5200　FAX.042-402-5201
広島営業所／TEL.082-568-6085　FAX.082-262-7212
福岡営業所／TEL.092-432-9220　FAX.092-432-9221

('20.8月現在)
'20.08. 1,000 DFC